



一方で 舞う者は 例えそれが短い であったとしても-  
、病人の痛みや苦しみ、不快感や困 を忘れさせるようにします。またお 舞いは、病人  
の 持ちを高め、彼らの精神と 心を めるようなものでなければなりません。 言者のいと  
こで教友のアブドッラ ブン アッバ スは、病人を する に し、神の御使いがこう言ったと  
述べています：

“????????????????????????????????????” (????????????????????)

また 舞う者は、彼の の 会を彼自身と される者の全ての完全な依 は神のみにあることを  
思い起こさせるために利用すべきです。また来世よりはこの世で苦しむ方がよいこと  
、そして至高の神は において辛抱 く るぎない信仰者に を授けて下さる、ということ  
を想起させるのです。

(正しく仕えるということとは) また困苦と逆境と非常 にしてよく耐え忍ぶ者。これら  
こそ真 な者であり、またこれらこまた 宜をわきまえた、 の利くスピ チも められます。  
病人を する者は、苦しむ者を前にしている は特に、言 の使い方に敏感で注意深くな  
なければなりません。とりわけ患者の心痛を更に やすようなことは、彼らの身体状 の  
化を招きかねません。そして彼らが病 のために何も出来ない状 にあるということは、  
彼らが自らの家で指 する 利を われたり、また彼らの私生活が尊重されなくともよいと  
いったりすることを意味するわけではありません。イスラ ム学者のイブン アブドル=  
バツルは彼のイスラ ム法学 ?P?????の中でこう しています：

するなら、健康な者であろうと病人であろうと、言われた 所に座るべきです。主人は  
彼らの家のプライバシー をどのように守るかよく知っています。病人を することはスン  
ナ ( 言者の ) とされています。短い が最善でしょう。 者は病人が近しい友人で彼らの  
同伴を しむことを望むのではない限り、病人のもとに 居すべきではありません。

また の にして言えば、もし 者が彼の意 において真 であるならば、それだけで彼の の目  
的は 成され、彼が病人のもとに 居することや不必要な妨害をする必要はないのです。  
シリアの学者アブドル=ファッタ ハ アブ グッダは彼のイスラ ムのマナ の著 にこう して  
います：

のさは金曜の二つの法のよりくてはいけない。こういった点から、は挨拶の言をえ、病人の状をね、その回を祈り、そしてさよならを言ったすぐに去るのに十分なだけ保すればよいのです。

また者は常に思いやりを示す必要があります。例えば彼の言の切さによる思いやり、彼の正しい行いを通しての思いやり、そして彼の短い滞在を通しての思いやり。これら全ては、そうすることによって神の哀れみへとかれるのだというな知ゆえのものです。彼の最後の言者はこう言いました:

“???”

そして最も慈悲深い行は、言者ムハンマドが病人を舞ったのスナ( )を模することです。なぜなら彼が言ったように言い、行ったように行うことは、世と来世の方で者とされる者方にとっての成功をもたらす最もな方法だからです。この件にして私たちにわっている言者の承の多くは、次に示す言者の妻アイシャのものでしょう:

???: ‘?????!,  
???’

また病人をしたの言者の行いからも、引用してみましよう:

“???” (???????????????????)

私たちが味わう全ての苦は祝福のれ蓑です。それは肉体と精神の方を、あらゆる害と不から洗し、清めてくれるものであるということに希望を持ち、祈りましよう。そして人々が病の、私たちの彼らにするによって、私たちと彼らに最も高なお方からの授けられますように。私たちは神の保をいます。

---

Footnotes:

[1] Al-Tirmidhi. アッ=ティルミズィ

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/431>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。